

第3回 酒田港カーボンニュートラルポート（CNP）協議会 議事概要

日 時 : 令和5年3月17日（金）14:00～16:00

場 所 : ホテルリッチ&ガーデン酒田 1階 スカンジナビア

【議事概要】

- 議事次第に沿って事務局（山形県）より説明した。
- 協議会は「酒田港脱炭素化推進協議会」に名称変更。
- 中間とりまとめは、構成員との調整後、令和5年4月以降に公表予定。
次回の協議会は、令和5年夏頃に開催予定。

【意見交換での主なコメント】

- 港湾オペレーションの脱炭素化としてフォークリフトのEV化を進めるだけではなく、使用する電気の脱炭素化も併せて考えていく必要がある。
- 水素・アンモニア供給インフラ整備支援について、拠点整備実施主体を民間が単独で実施するのは難しい。経済産業省の整備に係る支援の制度設計など早めに進めてほしい。
- バイオマス発電や洋上風力発電などの事業は既に動き始めている。短期的な項目について、今後充実していくべき。
- 新たなエネルギー資源の導入に関して、設備の導入コストがどの程度かかるのかという視点も入れて検討して欲しい。
- 短期・中期で導入に向けた検討とあるが、関心のある会社で小規模で集まって議論していくという方法も一案あるのではないか。
- 競争力のある酒田港にするためには、速度をもって取り組んでいかなければいけない。
- 新たなバイオマス発電所について、来年度稼働なので最優先課題として取り組むべきではないか。港湾整備も視野に入れて検討を進めるべき。
- 短期的なものをピックアップして、これをもってカーボンニュートラルを進めるんだという意思表示をすると良いのではないか。
- 長期的な取組を行うにあたっての課題を把握して、短期的にはこれをやっておかなければならないものを決めたらいいと思う。例えば、水素等の輸入を見据えて、酒田港の施設の拡張・増深のキャパを把握しておくことなど。
- クルーズ船寄港時に燃料船の離岸することがないような港湾利用の効率化も脱炭素化に繋がるため、その視点でも検討を進めてほしい。